

10年3月2日ダーラム郡警察ニュース

JSS 和訳

オンラインデート詐欺

ダーラム郡警察は市民の皆さんが、オンラインデート詐欺に関して注意するようとしている。

郡警察の詐欺捜査官は、オンライン詐欺に伴う送金や個人情報の公表によって、経済的被害に遭う人が増加しているとしている。

2月13日から26日の間、数人の女性が、オンラインデートを通じて知り合った男性によって経済的な被害にあった事を警察に通報している。犯人たちは国外で、各種の職業に関連する慈善活動で働いており、活動資金をナイジェリアに送金するよう依頼したと言う。被害者たちはさらに、銀行口座などの個人情報を犯人に伝えることにも同意したが、伝えたすぐ後に多額の預金が被害者の口座から引き出されたという。

捜査員は、被害者は犯人と数ヶ月の交信の後に詐欺にあっているとしている。多くの場合、犯人たちは被害者がだまされる易くなるまで、数ヶ月をかけて交信を続けている。この手の詐欺は常時起きており、2005年以降下記のリンク(<http://www.msnbc.msn.com/id/8704213/>)にもあるように、年間を通じて起きているものだ。

郡警察は、インターネットの全てのサイトは狙われており、オンラインデートサイトも例外ではないことを皆さんが忘れないようにしてほしい。インターネットは注意して使用し、送金や個人情報を扱う場合、特に注意するようにされた

い。

この種の事件ないしは他の捜査に関する情報を持っている人は、重要犯罪詐欺課(電話1-888-579-1520 ext. 5232)の係員と連絡を取られたい。又、匿名情報はクライムストッパーズ(電話1-800-222-TIPS (8477))が受け付けており、情報提供者には\$2000までの獎金が与えられる場合がある。

JSS 説明

インターネットを介した犯罪についてはこれまでも多数紹介してきたが、訳出した記事の場合、手口は大変手の込んだものとなっており、又長い時間をかけて被害者の信頼を得た上での犯行が特徴だ。

インターネットを介していないが、日本で大きな問題となっている「オレオレ」詐欺、ないしは同種のものには電話を道具として使い、緊急事態を作り上げ、被害者に事態を吟味する時間を与えずに犯行が進むが、訳出記事の場合、インターネットを介して(直接面談していない)、数ヶ月にわたって交信を続け、被害者の信頼を確実にしてから犯行が行われている。又、慈善事業が犯行の道具に使われているところも大変悪質である。

大変残念なことであるが、こういった状況を考えると、確実に身元が分かっている人以外は信用できないのが実情であると言わざるを得ない。